



当院では、7つの看護分野で高いレベルの看護を実践するスペシャリスト「認定看護師」が勤務しています。今回は「皮膚・排泄ケア」分野の認定看護師を紹介します。

皮膚・排泄ケア特定認定看護師は、主に褥瘡や糖尿病壊疽などの傷に対して専門的な看護ケアや相談を行っています。創傷管理関連特定行為研修を修了し「褥瘡や慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去」「創傷に対する陰圧閉鎖療法」の治療を医師と協働しながら行っています。

超高齢社会では、生活習慣病の増加に伴い、褥瘡や足の傷が増加するといわれています。当院に褥瘡で来院する患者さんは多く、自宅での発生が約7割で、生活背景として1人暮らしや夫婦・親子のみの世帯が約6割を占めています。また、褥瘡以外の傷でのケアや相談を含めた延べ患者数は7年間で約4倍に増加しています。褥瘡や糖尿病壊疽などの傷はできしまうと治りづらいという特徴があり、長期的な罹患で感染を招く恐れもあります。そのため、予防ケアが第一で早期発見や重症化させないことが重要となってきます。

予防ケアの基本はスキンケアです。皮膚を洗浄すること、保湿をすること、保護をすることが大切です。

当院では、皮膚や排泄、傷などの問題を持つ患者さんを対象にケアやアドバイスを提供する看護相談外来を設けています。また、自宅で過ごす褥瘡患者さんの生活が少しでも快適になるように、ケアの方法と一緒に検討する同行訪問も行っています。地域において傷を持った患者さんや家族がその人らしく生活できるよう支援させていただきます。

気軽にご相談ください。

(文責 中央病院 皮膚・排泄ケア  
特定認定看護師 木村 英子)



「認定看護師」とは、ある特定の看護分野で熟練した看護技術と知識を有する者として、日本看護協会の認定を受けた看護師のことです。

## あなたの街の

# 法律相談

～第53回～



市民の皆さんの身近な事柄を取り上げ、法律の面から弁護士が解説します。今回は「保証債務」についてです。

問まちづくり支援課 ☎ 6777

**Q** 友人から車のローンの保証人になってほしいと頼まれました。保証の契約をする際にどんなことに注意すればいいですか。

**A** 契約者がローンを支払えない場合、保証人は契約者に代わって残りの金額を支払わなければなりません。その友人に返済能力はあるか、仕事に対する態度はどうか、人柄は信頼できるかなどよく考えることです。また、万一の場合、

ローン全額を自分が支払えるかも考えてください。安易に保証人を引き受けないように注意しましょう。

**Q** 友人は「絶対に迷惑を掛けないから」と言っています。

**A** 保証人を頼んでくる人は、ほぼ100%そう言います。しかし、その後トラブルが発生しているのも現実です。そもそも保証人は親や兄弟姉妹に頼むのが普通で、友人に頼む時点でおかしな話です。親や兄弟姉妹が保証人になってくれないというなら、その人の信用に問題があると考えるのが普通でしょう。

**Q** 後日、友人の「絶対に迷惑を掛けない」が嘘だと分かった場合、保証の契約を解除できますか。

**A** 保証契約はローン会社とあなたの契約です。あなたが友人にだまされたとしても、ローン

会社は無関係ですから、解除できません。責任から逃れることはできません。

**Q** 友人からアパートを借りるので保証人になってほしいと頼まれました。ローンの保証と違いがありますか。

**A** 賃貸借は継続的な契約といわれ、保証する金額もいくらになるのか予想ができません。知らぬ間に賃料の未払いが長期間になっていたり、部屋が傷ついて高額な損害賠償義務が発生したりすれば、予想外の金額になることもあり得ます。そこで、令和2年4月1日以降の契約では、極度額（※限度額のこと）が決められていなければ無効となりました。保証人になる際に、極度額をよく確認し、支払えないような金額になっていないか注意しましょう。

(文責 弁護士 十枝内 亘)  
弁護士法人十枝内総合法律事務所  
☎ 4005